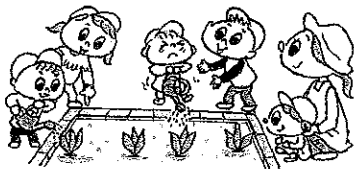


年少だより

ほほえみ



担任 中村 孝枝



日差しが夏らしさを増してきました。みんなで育てている夏野菜も大きくなってきました。強い太陽の光を浴びて育つ夏野菜は、紫外線から身を守るため、ビタミンやポリフェノールなどが多く含まれます。栄養たっぷりの夏野菜を食べて、この夏をみんなでのり切りたいと思います。

5月の保育より

ハロウィンごっこをしよう！～様々な遊びへ

つばめ組にとって異年齢児はとても大きな存在です。ある日、はと組で盛り上がっているお化け屋敷に招待してもらいました。はと組の部屋に入るとパーティーで作られた迷路にはお化けがいっぱい貼ってありました。陰から次々とお化けが登場してハラハラドキドキを体験しました。その後展開されたひばり組のお化け屋敷ごっこでの猫耳を付けた姿に刺激され、「お化けごっこをやろう!」と猫の耳を付けスカートをはき、パーティーで迷路を作り始めました。紙に次々とお化けを描く子もいました。「魔法のほうきを作って。」の声に皆でほうきを作りました。それぞれのイメージで展開されたお化けごっこがハロウィンごっこになって、魔法のほうきにまたがって遊ぶという遊びに変化していききました。

プールスティックという当たっても痛くない素材でできている魔法のほうきはその後も子ども達の想像力によって戦いの武器や野球のバットに変身し活躍の場を広げています。

3歳児はまだまだ知識や経験は少ないですが、それを補い余るぐらいの想像する力、ファンタジーの世界で遊ぶ力があります。ごっこ遊びを自分なりのイメージの中で楽しみます。戸外でもそんな遊びが次々と展開され思う存分楽しみながら幼稚園が安心できる場になってきています。

また、3歳児は興味の移り変わりが早い時期です。遊び始めたと思ったら次の遊びに移っています。これからも、子どもの思いを大事にやりたい遊びが十分できるように環境を整えていきます。



6月のわらい

○保育者や友達と過ごす中で、遊びを十分に楽しむ。

○いろいろな遊具に触れ、使って遊ぶことを楽しむ。

一人一人の思いが出せるように

園生活にも慣れ、不安や緊張感が取れてきています。園生活が安定したことに伴い、行動範囲も広がり活発になりました。友だちのやっていることに興味をもち一緒に遊ぶ姿も出てきました。その分、トラブルも起きています。自分を出せるようになった1つととらえ、仲立ちをしたり、声をかけたり、一人一人の思いを受け止めていきたいです。

梅雨

梅雨の時期は室内で過ごすことも多くなってきます。リズム遊びや簡単なゲームなどの動きのある遊びを取り入れ、遊びの工夫を心がけていきます。

衣服の着脱も自分でできるように頑張っていきましょう!

